



学校だより第6号
平成27年9月1日(火)

伊丹市立桜台小学校
〒664-0023
伊丹市中野西4丁目100番地
072-781-2465

伊丹市立桜台小学校ホームページ http://www.s_sakura.itami.ed.jp/



◆ 平成27年度全国学力・学習状況調査結果について ◆

平成27年4月21日(火)に実施された全国学力・学習状況調査の結果が、文部科学省から返却されましたので、その概要をお知らせいたします。

調査対象は6年生で、実施教科等は、国語A(基礎)、国語B(応用)、算数A(基礎)、算数B(応用)、理科、学習意識調査でした。

桜台小学校の各教科平均正答率(受検者に対して正答していた児童の割合)は、全国平均正答率と比較して、全ての教科において、10ポイント前後下回る結果でした。

また、学習意識調査においては、朝食摂取、家庭での学習時間等、基本的な生活・学習習慣の定着に課題が見られました。

一方、地域行事への参加意識、地域への貢献意識等においては、全国平均を上回る傾向を示しておりました。

今後は、子どもたちにとってわかりやすい授業の提供に努めるとともに、家庭と連携して、基本的な生活習慣の定着を図って参ります。



1 課題の見られた問題例

【算数B】

(2) 次に、せんざいを買います。家で使っているせんざいが、20%増量して売られていました。増量後のせんざいの量は480mLです。
増量前のせんざいの量は何mLですか。求める式と答えを書きましょう。



(解答)

$$480 \div 1.2 = 400$$

答 400mL

$$\square \times 1.2 = 480$$

$$\square = 480 \div 1.2$$

$$\square = 400$$

答 400mL

この問題は、5年生で学習する「割合」です。桜台小学校の正答率は、7.8% (115人中9人が正答) でした。この「割合」は、1年生からの算数学習の積み上げがポイントになります。

<1年生>「ながさくらべ」

(例)『消しゴム4つ分の長さが鉛筆の長さになります。』→基準となる長さを基に長さを測定することができる。

<2年生>「1000までの数」「かけ算」

(例)『200は100が2つ分の数です。また、10が20個分の数です。』→10や100などを単位として、数の大きさをとらえることができる。

(例)『3cmの2つ分のことを3cmの2倍といい、 3×2 と表します。』→2つの量の関係を倍を使ってとらえることができる。

<4年生>「小数のわり算」

(例)『赤色のテープの長さ30cmは、青色のテープの長さ20cmの1.5倍です。』→基準量と比較量から倍を求めることができる。

これらの学習がしっかりと定着していれば、5年生の「割合」の学習が理解できます。

2 学力向上に向けて

(1) 「めあて」と「ふりかえり」を明確にした授業の実施

1時間の授業で何を学ぶのか、何ができるようになっていけばいいのか、「めあて」を明らかにし、何が学べたのか、何ができるようになったのか、まだできていないことは何か、「ふりかえり」を行うことにより、確実な学習の定着を図ります。

(2) ICTを活用したわかりやすい授業の実施

教科書の大切なポイントを拡大して黒板に投影したり、作業の進め方をわかりやすく説明したりするのに有効な①実物投影機、②プロジェクタ、③スクリーンを増設し、できるだけ多くの授業で活用することにより、子どもたちの興味関心を喚起し、学習理解の促進を図ります。



(3) 学校図書館の電算化による読書教育の充実

学校図書館の15,000冊の蔵書を全てバーコード管理することにより、子どもたちの読書傾向等を把握し、子どもたちが本好きになり、多くの本が読めるような読書環境を整えます。また、各教科の学習の中でも蔵書を有効に活用し、学びを深めていきます。



バーコード化された図書

